

厚生労働省「シームレスな健康情報活用基盤実証事業」

# のとほく. ねっと

## ～実証端末起動終了手順～

各医療機関ごとに、準備する機器や、システム利用前準備の内容が異なりますので、該当の部分のみを実施してください。

### <本書の流れ>

- 1.準備するもの : システムをご利用になるために必要となる機器類を準備します。
- 2.端末の起動 : 1.で準備した機器を、実証用ノートパソコンへ設置し、電源を入れます。
- 3.システム利用前準備 : システムを利用する前の準備として、ネットワーク接続を行います。
- 4.端末の終了 : 実証用ノートパソコンの電源を落とします。
- 5.参考 : ウィルス対策ソフトやWindowsUpdateを実施します。

1. 準備するもの

以下のものをご準備ください。

各機器には番号シールを貼り付けていますので、番号に間違いが無いことを確認してください。

※ノートパソコンの表面に「notohokuPCxx (xxは番号)」のシールを貼付しています。

また、各機器には、“notohokuPCxx”の「xx(番号)」部分のみのシールを貼付しています。

※下表の該当医療機関で○のついている機器を用意します。

	機器名	医療機関		
		市立 輪島病院	左記以外の 病院/クリニック	薬局
①	実証用ノートパソコンと電源ケーブル	○	○	○
②	データ通信端末 (docomo、au)	○	○	○
③	QRコードスキャナ本体とケーブル	×	○	○
④	ICカードリーダー	○	○	○
⑤	USBトークン	○	○	○
⑥	セキュアネットサービス接続用ユーザID・パスワード (ユーザPIN) 情報の紙	○	○	○
⑦	USBハブ	×	○	○
⑧	フェリカリーダー	×	×	○

## 2. 端末の起動

以下の手順に沿って、各機器を接続し、端末の電源を入れます。

※下表の該当医療機関で○のついている手順を実施します。

※下表の該当医療機関で△のついている手順は、通常業務では不要です。

患者様向けに端末を開放される際に必要となる手順です。

	手順	医療機関		
		市立 輪島病院	左記以外の 病院/クリニック	薬局
1)	実証用ノートパソコンの設置	○	○	○
2)	QRコードスキャナとケーブルの接続	×	○	○
3)	ICカードリーダーの接続	○	○	○
4)	USBハブの接続	×	○	○
5)	通信カードの接続	○	○	○
6)	USBトークンの接続	○	○	○
7)	QRコードスキャナの接続	×	○	△
8)	フェリカリーダーの接続	×	×	○
9)	端末の起動	○	○	○

1) 実証用ノートパソコンの設置

- ① ノートパソコンに電源ケーブルを接続し、コンセントとつなげます。

2) QRコードスキャナとケーブルの接続

- ① 本体の△印と、ケーブルの△印をあわせ、奥まで差し込みます。



- ② コネクタカバーと本体の切込みをあわせてはめ込み、コネクタカバーを右方向に回し固定します。



3) ICカードリーダーの接続

- ① 実証用ノートパソコンの左奥USBポートにカードリーダーを接続します。  
赤色のシールが目印です。



4) USBハブの接続

- ① 実証用ノートパソコンの左手前USBポートにUSBハブを接続します。  
黄色のシールが目印です。



5) 通信カードの接続

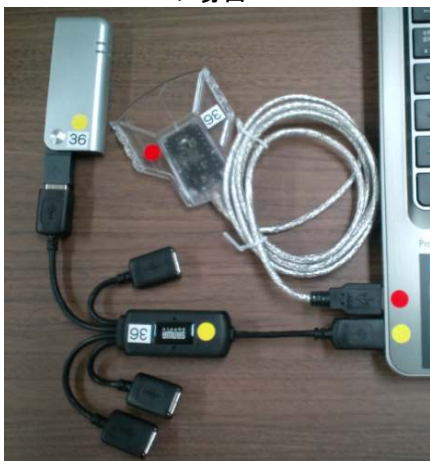
※市立輪島病院は①を、その他の医療機関は②を実施します。

- ① 実証用ノートパソコンの左手前USBポートに通信カードを接続します。  
黄色のシールが目印です。



- ② 実証用ノートパソコンの左手前USBポートに接続したUSBハブに、通信カードを接続します。

a. docomoの場合



b. auの場合



6) USBトークンの接続

- ① 実証用ノートパソコンの右手前USBポートにUSBトークンを接続します。  
橙色のシールが目印です。



7) QRコードスキャナの接続

- ① 実証用ノートパソコンの右奥USBポートにQRコードスキャナを接続します。  
緑色のシールが目印です。



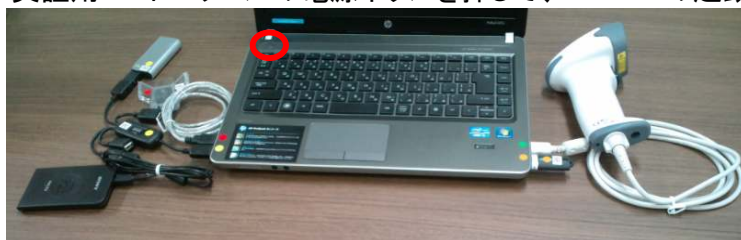
8) フェリカリーダの接続

- ① 実証用ノートパソコンの左手前USBポートに接続したUSBハブに、  
フェリカリーダを接続します。



9) 端末の起動

- ① 実証用ノートパソコンの電源ボタンを押して、Windowsの起動を待ちます。



- ② Windowsの起動後、パスワードを入力してください。  
※パスワードはサポートセンターへお問い合わせください。

<補足>

機器類を接続する前に実証用ノートパソコンの起動を行った場合は、  
一旦、パソコンの電源を落として、機器類を接続しなおしてから再度、起動してください。

以上で、端末の起動は完了となります。

### 3. システム利用前準備

システムを起動するためには、以下の順番に沿って各機器のソフトウェアを起動する必要があります。

- ① データ通信端末の接続ソフト起動し、データ通信を開始します。
- ② USBトークンのセキュアネットを確立し、セキュアネット通信を開始します。
- ③ QRコード読み取りソフト起動し、QRコード読み取り設定を行います。

※下表の該当医療機関で○のついている手順を実施します。

※下表の該当医療機関で△のついている手順は、通常業務では不要です。

患者様向けに端末を開放される際に必要となる手順です。

	手順	医療機関		
		市立 輪島病院	左記以外の 病院/クリニック	薬局
1)	データ通信の開始	○	○	○
2)	CRLの取得	○	○	○
3)	セキュアネット通信の開始	○	○	○
4)	QRコード読み取りソフトの起動	×	○	△

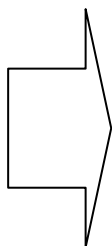
- 1) データ通信の開始  
 データ通信端末の接続ソフト起動し、データ通信を開始します。  
 ※データ通信端末はdocomoとauの2種類がありますので、ご確認ください。

a. docomoの場合

- ① デスクトップのアイコンをダブルクリックします。



- ② 接続ソフトが起動(左画面)し、アンテナと現在日時が表示(右画面)されるまで待ちます。



アンテナが表示される

※エラーが出た場合は、  
データ通信端末の接続場所が  
間違っている可能性があります。

一度4. 端末の終了手順で終了し、  
2. 5)から再度実施してください。

現在日時が表示される

- ③ 真ん中の○(パソコンとインターネットのマーク)にマウスをあわせると、色が青色に変わり(左画面)ますのでクリックします。接続中画面(中画面)後、電話と接続情報が表示(右画面)されるまで待ちます。



電話が表示される

接続時間と○OKBが表示される  
 ※○○の数値は状況に応じて変化します。



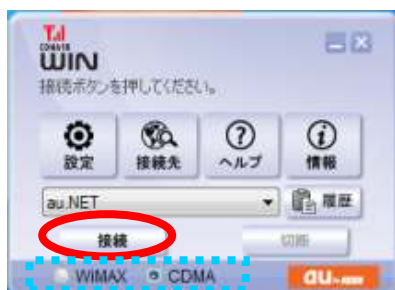
b. auの場合

- ① Windowsが起動されると、デスクトップ上に接続ツールが自動起動されます。  
“接続ボタンを押してください。”メッセージが表示されるまで待ちます。



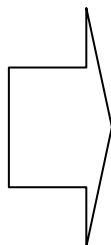
※通信端末が認識されない場合は、データ通信端末の接続場所が間違っている可能性があります。  
また、接続ツール画面が表示されない場合や、誤って×をクリックして接続ツールを終了してしまった場合は、一度4. 端末の終了手順で終了し、2. 5)から再度実施してください。

- ② 接続をクリックします。



※ご利用の環境にあわせて、データ通信モード(WiMAX/CDMA)を選択してください。

- ③ “ネットワークに接続中です”画面(左画面)後、“ネットワークに接続しました。”画面(右画面)が表示されるまで待ちます。



2) CRL取得ツールの起動

- ① デスクトップのアイコンをダブルクリックします。



3) セキュアネット通信の開始

USBトークンのセキュアネットを確立し、セキュアネット通信を開始します。

- ① デスクトップのアイコンをダブルクリックします。



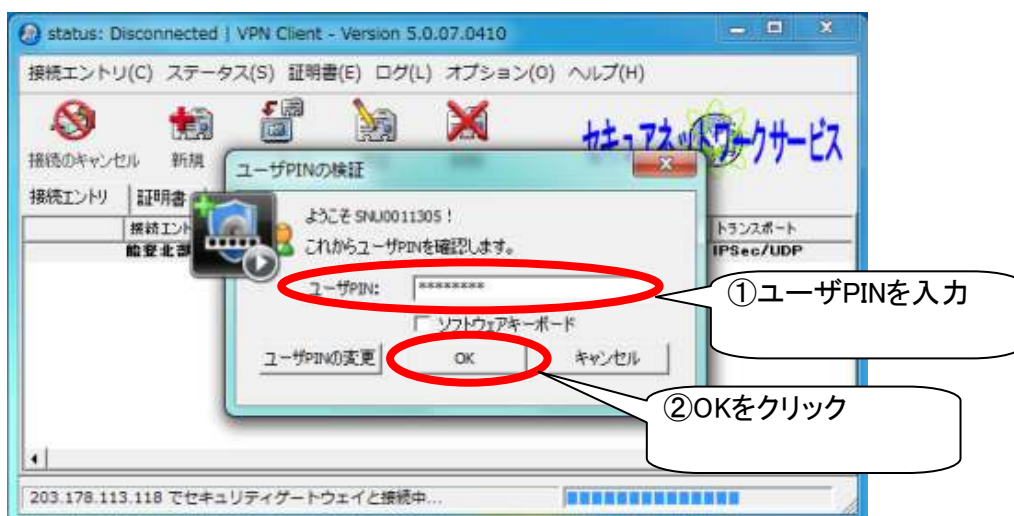
- ② セキュアネットワークサービス画面が表示され、接続処理が開始されます。



※エラーが出た場合は  
USBトークンの  
接続場所が  
間違っている  
可能性があります。

一度4. 端末の終了  
手順で終了し、  
2. 6)から再度  
実施してください。

- ③ ユーザPIN入力画面が表示されます。  
同梱されている「セキュアネットサービス接続用ユーザID・パスワード(ユーザPIN)情報」の紙を  
用意し、ユーザPINを入力(①)後、OK(②)をクリックします。  
※ユーザPINは変更することができます。  
変更された場合は、ご自身でPINの管理を実施していただくようお願いします。



- ④ 画面が消えるのを確認します。

<補足>

セキュアネット通信は連続接続時間10時間です。  
接続開始時間から10時間後に1度必ず切断されますので、再度接続してください。

- 4) QRコード読み取りソフトの起動  
QRコード読み取りソフト起動し、QRコード読み取り設定を行います。  
① デスクトップのアイコンをダブルクリックします。



- ② 以下の画面が表示され、消えるのを確認します。



※エラーが出た場合は、  
QRコードスキャナの接続場所が  
間違っている可能性があります。

一度4. 端末の終了手順で終了し、  
2. 7)から再度実施してください。

以上で、システムの利用前準備は完了となります。

#### 4. 端末の終了

システムを終了するためには、以下の順番に沿って終了処理を実施する必要があります。

- ① USBトークンのセキュアネット通信を終了します。
- ② Windowsをシャットダウンします。
- ③ 接続した各機器を取り外します。

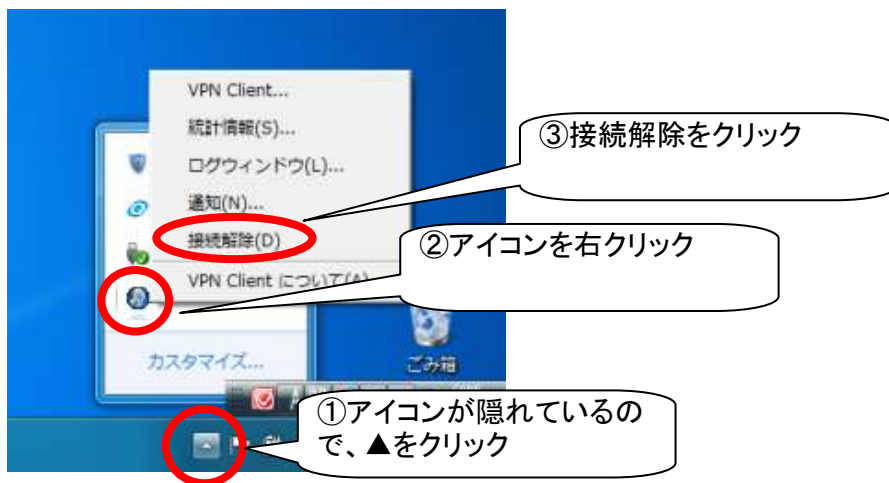
※下表の該当医療機関で○のついている手順を実施します。

	手順	医療機関		
		市立 輪島病院	左記以外の 病院/クリニック	薬局
1)	セキュアネット通信の終了	○	○	○
2)	端末の終了	○	○	○
3)	機器の取り外し	○	○	○

1) セキュアネット通信の終了

USBトークンのセキュアネット通信を終了します。

- ① タスクバーの▲(①)をクリックし、USBトークンのアイコン(②)を右クリックします。  
接続解除(③)をクリックします。

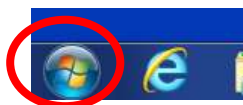


- ② USBトークンのアイコンが青色から赤色に変わったら、通信終了です。



2) 端末の終了

- ① 端末を終了します。



→ シャットダウンを選択

3) 機器の取り外し

- ① シャットダウンが終了したことを確認し、パソコンから以下の機器を取り外します。
- ・ データ通信端末
  - ・ QRコードスキャナ
  - ・ カードリーダー
  - ・ USBトークン

以上で端末の終了手順は完了となります。

## 5. 参考

ウイルス対策ソフトウェアやWindowsUpdateを定期的に行ってください。

- ① データ通信端末の接続ソフト起動し、データ通信を開始します。
- ② ウィルス対策ソフトウェアやWindowsUpdateを実施します。

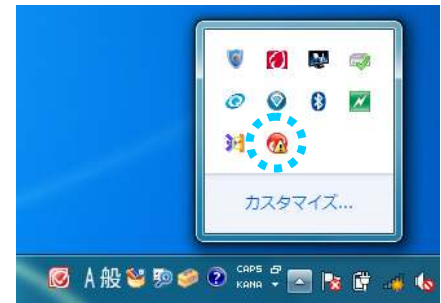
※USBトークンを使用して、セキュアネット通信を開始している場合は、インターネットへの接続ができないため、上記①や②を実施することはできません。セキュアネット通信を開始している場合は、【4.端末の終了 1)セキュアネット通信の終了】を実施してから、上記①や②を実施してください。

### 1) ウィルス対策ソフトウェアのパターンファイル更新

- ① 実証端末を起動中、ウイルス対策ソフトウェアから「保護機能が最新ではありません」のメッセージが表示されたら、パターンファイルの更新をおこなってください。



※タスクバーのウイルスソフトのアイコンに注意マークがつきます。



- ② 【3. システム利用前準備 1)データ通信の開始】を参考に、データ通信を開始します。
- ③ 確認をクリックします。



- ④ パターンファイルのアップデートが開始されます。



- ⑤ アップデートの確認が終わると、アップデートのインストールが開始されます。



- ⑥ 最新のアップデートが適用されたことを確認します。

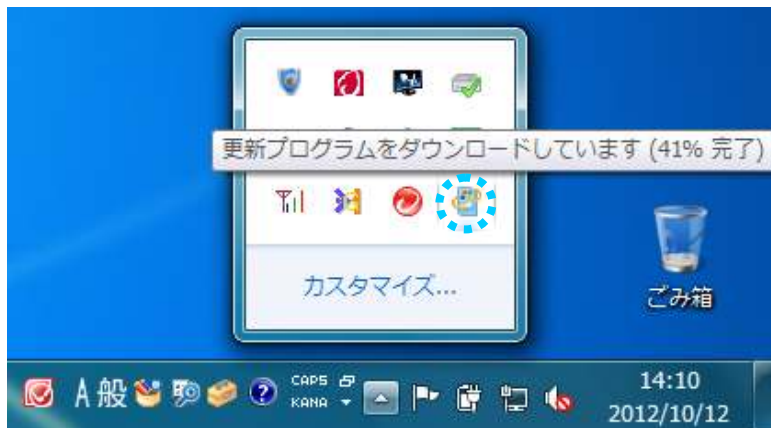


## 2) WindowsUpdateの更新

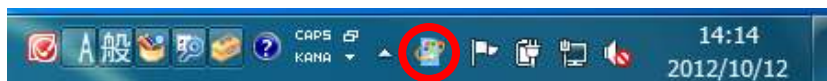
- ① 実証端末を起動中、データ通信を開始しているタイミングで、WindowsUpdateが自動で更新ファイルを受信します。  
※セキュアネット通信を開始している場合は、更新ファイルを受信しません。

タスクバーを確認します。

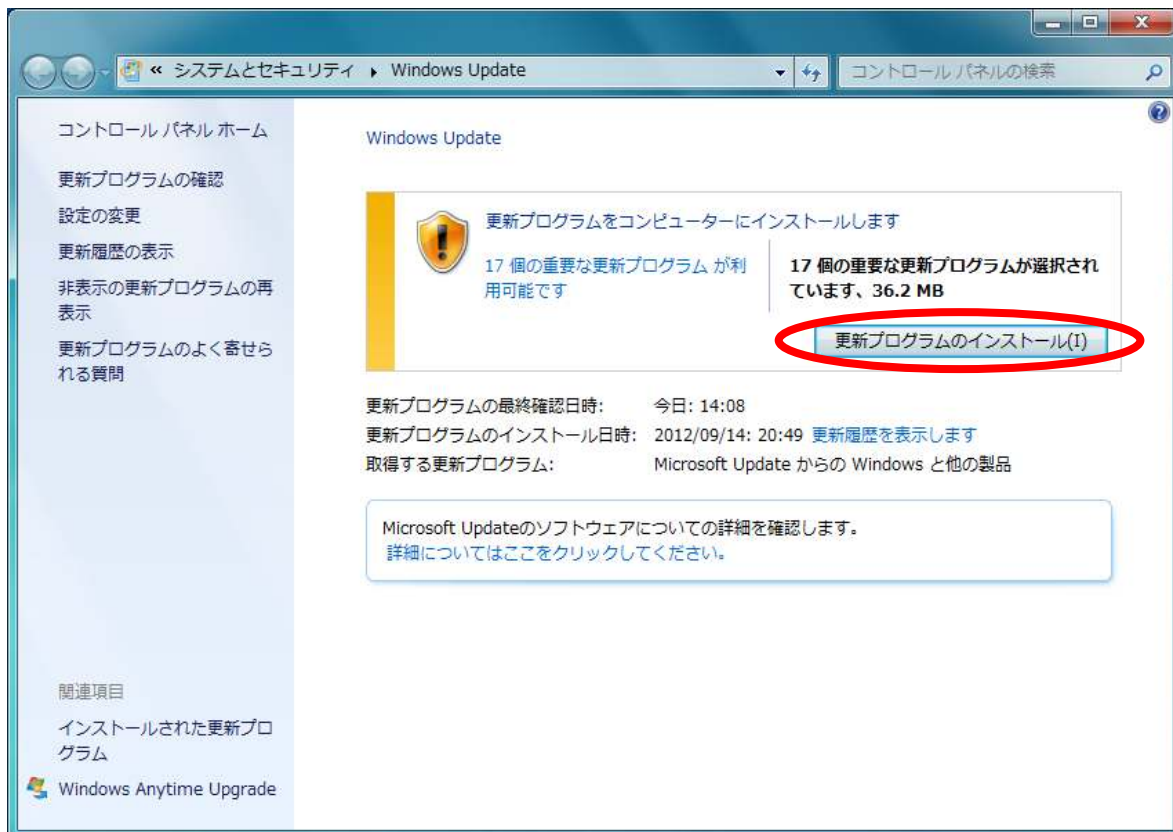
更新プログラムのアイコンにマウスをあてると、ダウンロード状況が表示されます。



- ② 更新プログラムのダウンロードが完了すると、タスクバーにアイコンが表示されます。  
アイコンをクリックします。



- ③ 更新プログラムのインストール画面が表示されますので、更新プログラムのインストールをクリックします。





- ④ 更新プログラムのインストールが開始されます。開始後に③の画面が最小化されます。インストール状況を確認したい場合は、タスクバーのアイコンをクリックします。



- ⑤ インストールが完了するのを待ちます。場合によっては、再起動を促すメッセージが表示されることもありますので、その場合は、再起動を実施してください。

